

令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 令和元年度重点課題

1 会員数、目標値716名達成

全国シルバー人材センター事業協会が示した100万人増強計画に基づき、当センターに示された「会員数716名」を今年度の目標に定めた。この目標に合わせ施策を具体化するために各委員会等により以下の施策を検討し実施した。

(1) 事業委員会・・・イベント等による会員増強

ア よかもん市での会員募集チラシを配布した。

イ 市産業祭参加時のテント拡大により、新たにセンター紹介と入会相談コーナーを設け会員増強に努めた。

ウ あきる野夏祭りでの会員募集チラシを配布した。

(2) 広報委員会・・・チラシ作成等の普及啓発

ア 1月に会員募集チラシを作成し新聞折込みにより配布した。

イ 2月に秋川駅上り線ホームに会員募集看板を設置した。

ウ 3月に市内巡回バスの車体3面に会員募集の広告看板を設置した。

(3) 女性委員会・・・女性会員増強に向けて2月に市民向けの講演会を実施した。

(4) 東京しごと財団の会員拡大事業により作成した会員募集チラシを2月に新聞折込みにて配布した。

以上の施策を実施。結果、会員の目標値達成には至らなかったが、今年度末の会員数は前年度末と比べ10名増となった。

2 安全就業基準の周知徹底

安全就業基準の周知徹底をするため、以下の施策を実施した。

(1) 新入会員のフォローアップ研修、安全就業リーダー会議、職群班会議、各種技能研修等に際し、安全就業基準の徹底を図るよう指導周知した。

3 設立40周年記念誌の作成準備

令和2年度に設立40周年を迎えるにあたり、設立40周年記念行事運営委員会を立ち上げ、理事会承認のもと、以下の記念行事を実施する計画を立てた。

(1) 設立40周年記念誌の作成

会報形式によるカラー印刷にて記念誌を作成し、令和2年10月に発行することとした。

(2) シルバー祭り（仮称）の開催

センター駐車場等を使い、会員の演芸を始め、模擬店による飲食、小物等の販売、刃物研ぎ無料サービス等行い、日頃の会員、市民への感謝を込めて、シルバー祭り（仮称）を令和2年10月に開催する計画を立てた。また、シルバー祭り（仮称）は今後毎年実施していくこととした。

(3) 会員作品展の開催

令和2年9月下旬から10月初旬の3日間、市役所ロビーにて会員作品展を開催することとした。また、この事業も今後毎年実施することとした。

II 事業実施報告

1 情報の収集及び提供

あきる野市産業祭等に参加し、当センターの事業内容・活動状況を市民に提供するとともに、地区ごとの清掃ボランティア活動を実施し、情報の収集及び提供を図った。

- (1) 会報「あきる野」を2回、町内会・自治会等を通じ回覧し、センター事業に関する情報の提供を行った。
- (2) あきる野市産業祭に参加し、相談コーナーに新たにセンターの事業紹介ブースを設け、センター事業に関する情報の収集及び提供を行った。
- (3) 市の協力を得て「市広報紙」に市民向け講座、補習教室、パソコン教室、刃物研ぎ等の事業を掲載し、広く市民に情報の提供を行った。
- (4) 会員募集チラシを作成し、新聞折り込みにて配布し、情報の提供を図った。
- (5) 東京しごと財団の会員拡大事業により作成した会員募集チラシを新聞折り込みにて配布し、情報の提供を図った。
- (6) 市内巡回バスの車体3面に会員募集の看板を設置し周知を図った。
- (7) 秋川駅上り線ホームに会員募集看板を設置し周知を図った。
- (8) センター事業に関する財団の各種会議に参加。また、財団発行の「シルバーとうきょう」、(公社)全国シルバー人材センター事業協会発行の「月刊シルバー人材センター」等を通じて情報の収集に努めた。

2 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため、会員及び高齢者の就業並びにシルバー組織の充実を図るため次の調査研究を行った。

- (1) 毎月の理事会において会員の入退会状況及び就業実績を分析し、今後の運営の検討を行った。
- (2) 会員の技能の能力等を把握するため、入会時に技能能力の確認を行った。
- (3) 請求書発行時に発注者に対しアンケート調査を実施(別添参考資料)、その内容を分析・調査し、就業等の向上に努めた。

3 就業に関する相談

随時、窓口・電話対応にて市民に対し就業相談等を受け付け、会員の登録を希望する高齢者に対しては、月1回の会員入会説明会を実施した。

(※新型コロナウイルス対策により3月の入会説明会は中止)

また、毎月第2、第4月曜日には会員に対し就業相談日を設け、随時相談を受け付けた。

4 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供を図るため、官公庁・企業、事業所及び一般家庭に対し高齢者就業の理解を求め、就業機会の開拓及び提供を積極的に行った。

(1) 開拓について

開拓については、会報「あきる野」、チラシ等を町内会・自治会に回覧し就業機会の開拓に努めた。また、就業開拓委員会が中心となり理事が、市内23社の事業所等を訪問し就業機会の開拓を図った。

また、新規事業開拓のため、立川市シルバー人材センターへ「リサイクル事業」の視察を行った。

あきる野市に対しては会長、副会長、常務理事（事務局長）が、あきる野市長と面談し、シルバー事業に対するより一層の理解と協力をお願いし、公共事業の新規就業の開拓に努めた。

(2) 就業の提供について

提供については、就業会員の増員を図るためローテーション制を促進。分ち合いによる公共継続就業の交代を積極的に行い、未就業会員に対して就業機会の提供に努めた。

(令和元年度実績)

| | 年度末 会員数 | 就 業 実人員 | 就 業 率 | 受注件数 | 延日人員 (月平均) | 契約金額 (単位：円) |
|--------|------------|------------|-------|-------|-------------------|----------------|
| 令和元年度 | 644 | 577 | 89.6% | 2,958 | 58,965 (4,914) | 282,368,181 |
| 平成30年度 | 634 | 586 | 92.4% | 2,988 | 61,157 (5,096) | 284,684,228 |
| 増 減 | 10 | △9 | △2.8% | △30 | △2,192 | △2,316,047 |
| 増減率 | 1.6% | △1.5% | △3.0% | △1.0% | △3.6% | △0.8% |

※令和元年度派遣事業実績

| | 受注 件数 | 実人員 | 延日人員 | 賃 金 | 派遣手数料 (消費税含 む) | (内センター 派遣手数料) | 合 計 |
|--------|----------|------|------|-----------|----------------------|------------------|-----------|
| 令和元年度 | 11 | 10 | 832 | 2,922,682 | 949,971 | 442,858 | 3,872,653 |
| 平成30年度 | 10 | 4 | 365 | 1,647,255 | 558,715 | 224,247 | 2,205,970 |
| 増 減 | 1 | 6 | 467 | 1,275,427 | 391,256 | 218,611 | 1,666,683 |
| 増減率 | 110% | 250% | 228% | 177% | 170% | 197% | 176% |

5 研修・講習

(1) 事業関係研修・講習（財団・安全講習会含む）

| 研修内容（講師） | 対 象 者 | 開 催 日 | 場 所 | 参加人数 |
|-----------------------|-------------------|--------------|-----------|------|
| 小学校児童通学案内 研修（福生警察） | 小学校児童通学 案内就業会員 | 平成31年4月3日（水） | センター2階会議室 | 55名 |

| | | | | |
|---|-------------------|-------------------------------------|----------------------|------|
| 草刈研修① ※安全就業基準周知 (内部講師) | 草刈機使用会員 | 令和元年5月21日(火) | センター2階会議室 グリーン運動場 | 42名 |
| 草刈研修② ※安全就業基準周知 (内部講師) | 草刈機使用会員 | 令和元年5月28日(火) | センター2階会議室 グリーン運動場 | 33名 |
| 総会時講演会 「熱中症対策」 (大塚製薬株式会社) | 総会出席会員 | 令和元年6月14日(水) | キララホール | 165名 |
| 自動車運転講習会 (飛鳥ドライビングカレッジ) | 派遣自動車運転会員 | 令和元年6月24日(金) | 飛鳥ドライビングスクール 日野校 | 2名 |
| 熱中症指数計講習会① ※安全就業基準周知 (安全管理委員会) | 屋外作業従事会員 | 令和元年7月26日(金) | センター2階会議室 | 29名 |
| 自転車安全運転講習会 ※安全就業基準周知 (福生警察署) | 就業途上に自転車を使用している会員 | 令和元年7月29日(月) | センター2階会議室 | 31名 |
| 熱中症指数計講習会② ※安全就業基準周知 (安全管理委員会) | 屋外作業従事会員 | 令和元年7月30日(火) | センター2階会議室 | 21名 |
| 自動車安全運転講習会 ※安全就業基準周知 (福生警察署) | 就業において自動車を運転する会員 | 令和元年8月27日(火) | センター2階会議室 | 58名 |
| 就業支援講習 「ハウスクリーニング」 〔東京しごと財団〕 〔専門講師〕 | 家事援助班会員 | 令和元年10月28日(月) ～ 令和元年10月29日(火) | (公財)東京しごと財団 | 1名 |
| 安全就業基準研修会 (安全管理委員会) | 職群班に属さない 就業会員 | 令和元年10月31日(木) | センター2階会議室 | 57名 |
| 一般市民向け講習会 「障子の張り替え」 〔東京しごと財団〕 〔専門講師〕 | 60歳以上一般市民 | 令和元年11月14日(木) | センター2階会議室 | 7名 |

| | | | | |
|--|------------|---------------------|------------|------|
| 転倒予防・危険予知活動 〔東京しごと財団〕 専門講師 | 安全就業リーダー | 令和元年 11 月 27 日 (水) | センター2 階会議室 | 23 名 |
| 一般市民向け講習会 「毛筆筆耕」 〔東京しごと財団〕 専門講師 | 60 歳以上一般市民 | 令和 2 年 1 月 22 日 (水) | センター2 階会議室 | 14 名 |
| 草刈機による飛び石 事故防止講習 〔東京しごと財団〕 専門講師 | 草刈就業会員 | 令和 2 年 2 月 3 日 (月) | 国分寺労政会館 | 2 名 |

※新型コロナウイルス対策のため、3 月予定の接遇研修、植木研修は中止いたしました。

(2) 会員研修・講習

| 研修内容 (講師) | 対象者 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|------------------------|------|----------------------|------------|------|
| フォローアップ研修 (三役・担当理事) | 新入会員 | 平成 31 年 4 月 19 日 (木) | センター2 階会議室 | 20 名 |
| | | 令和元年 6 月 14 日 (木) | | 7 名 |
| | | 令和元年 8 月 8 日 (木) | | 7 名 |
| | | 令和元年 10 月 10 日 (木) | | 6 名 |
| | | 令和元年 12 月 12 日 (木) | | 6 名 |
| | | 令和 2 年 2 月 13 日 (木) | | 6 名 |

(3) 役員研修等

| 研修内容 (講師) | 対象者 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|--|----------------|----------------------|-----------|------|
| 安全就業研修会 (安全予知活動) 〔東京しごと財団〕 専門講師 | 安全管理委員会 委員長 | 平成 31 年 4 月 15 日 (月) | 東京しごとセンター | 1 名 |
| 決算監査と監事の役割 〔東京しごと財団〕 会計士 | 監事 | 平成 31 年 4 月 17 日 (水) | 東京しごとセンター | 2 名 |
| 新任安全管理委員勉強会 (東京しごと財団) | 新任安全管理委員 | 令和元年 7 月 2 日 (火) | 国分寺労政会館 | 2 名 |
| 会長会議 | 副会長 | 令和元年 7 月 8 日 (月) | 東京しごとセンター | 1 名 |
| 安全リーダー研修 (東京しごと財団) | 安全管理委員 | 令和元年 7 月 9 日 (火) | 国分寺労政会館 | 2 名 |
| 転倒予防勉強会 (東京しごと財団) | 安全管理委員 | 令和元年 8 月 28 日 (水) | 東京しごとセンター | 2 名 |

| | | | | |
|---------------------------------|--------|---------------|-----------|----|
| 安全大会 (東京しごと財団) | 安全管理委員 | 令和元年9月20日(金) | 東京しごとセンター | 3名 |
| 自転車安全利用講習会 (東京しごと財団) | 安全管理委員 | 令和元年11月28日(木) | 東京しごとセンター | 2名 |
| 自転車利用TOKYO セミナー (東京しごと財団) | 安全管理委員 | 令和2年1月22日(水) | 三鷹産業プラザ | 1名 |

(4) 第6ブロック関係研修会

| 研修・会議内容 | 対象者 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|-----------------------|-------------|-------------|-----------------------|------|
| 第6ブロック 安全就業研修会 | 安全管理委員 | 令和元年9月5日(木) | (公社)立川市シルバー 人材センター | 2名 |
| 第6ブロック三役研修会 (健康関連) | 副会長 常務理事 | 令和2年2月7日(金) | (公社)立川市シルバー 人材センター | 2名 |

6 その他事業

(1) 安全就業対策の推進

重点課題にもあるように、センター事業の根幹である「安全はすべてに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「危険予知」「私は事故を起こさない」を実践するために次の事業を行った。

- ① 東京しごと財団及び他地区センターとの安全対策会議に出席し連携を図った。
- ② 各種研修、会議等の際に安全就業基準の遵守に向けた講習を実施した。
- ③ 「安全だより」を毎月発行し、安全意識の高揚に努めた。
- ④ 就業前に用具の点検と安全保護具の点検を励行した。
- ⑤ 研修を通じ就業途上における事故防止の徹底を図った。
- ⑥ 安全就業の徹底を図るため、傷害事故等の現場を巡回し、聞き取り調査を実施。事故の分析、対策を検討し事故の再発防止に努めた。
- ⑦ 会員の健康管理として、市で実施する市民健康診査並びに東海大学八王子病院健康管理センターとの連携による人間ドックの受診を積極的に呼びかけ、会員自らの健康管理の重要性を周知した。また、作業前の体操等の奨励を行った。
- ⑧ 安全管理委員、理事による安全就業適正巡回パトロールを11回実施し、安全就業の指導を行った。
- ⑨ 植木就業事故撲滅のため、安全管理委員、理事による植木特別安全パトロールを9回実施した。
- ⑩ 安全リーダーに対し「会議」並びに「転倒予防・危険予知活動研修」により安全教育を実施した。
- ⑪ 定時総会開催時に熱中症対策の講習会を実施した。
- ⑫ 「安全だより」を毎月一回発行し、会員個々による安全意識の高揚に努めた。
- ⑬ 毎月月初に安全朝礼を12回開催した。また、平成27年度におきた死亡事故を

風化させないため、11月20日に「271120・安全宣言・安全はすべてに優先する」をスローガンに安全朝礼を1回実施、安全意識の高揚を図った。

- ⑭ 就業会員を対象に、会員自ら年間の安全健康計画を立てその計画が実践されているかを確認できる「個人別安全確認報告書」を渡し、会員個々の就業の安全と健康管理に対する意識の高揚に努めた。
- ⑮ 安全意識高揚のため「テーマごとの安全標語」と「ヒヤリハット」の募集を行った。
- ⑯ 安全管理委員会単独の研修会として、5 研修・講習（1）事業関係研修・講習のとおりに「熱中症対策」「自転車安全運転講習会」「自動車安全運転講習会」「安全リーダー研修」等を実施した。また、当センター主催の技能研修に合わせ安全就業の周知を図った。
- ⑰ 新入会員のフォローアップ研修に際し、財団発行の「安全のしおり」を活用、安全就業の指導を行った。
- ⑱ 安全就業強化月間を4月、7月、11月に実施し、安全就業の徹底を図った。
- ⑲ 就業中に常時携帯できる緊急連絡カードを作成し、就業会員に配付した。

(2) 長期就業の適正化及び80歳以上就業会員の安全就業に対する面談

就業の適正・公平・安全を確保し、全ての会員が能力に応じて分かち合いの精神のもと、公平に働く機会を得られるように長期就業の適正化について理事会で検討した。

その結果、公共の契約を中心に10契約の25名の交代者を決定。未就業会員並びに継続的な就業に就いていない会員259名に対し就業募集案内を通知した。この募集による就業希望者は39名であった。公平な選考を図るため、理事により希望者に対し面接を行い、理事会において選考し新規就業者の決定を行った。

80歳以上就業会員の安全就業に対する面談を理事が実施し、67名の会員に対し健康面を含め安全就業の確認を行った。

(3) 女性委員会活動

女性会員の活性化並びに増強を図るため以下の活動を行った。

- ① 女性委員会の活動状況をセンター「会報」に掲載。女性委員会通信（年5回）を発行し活動の周知を図った。
- ② 女性委員会活動報告

| 活動内容 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|--------------|----------------|-------------|------|
| 女性会員交流会 | 令和元年 5月17日（金） | 黒茶屋 | 28名 |
| 除草ボランティア | 令和元年 6月3日（月） | センター敷地内 | 30名 |
| | 令和元年 9月30日（月） | | 29名 |
| 福祉施設除草ボランティア | 令和元年 6月21日（金） | 公立阿伎留医療センター | 24名 |
| 男性料理教室 | 令和元年 10月25日（金） | 中央公民館実習室 | 14名 |

| | | | |
|---|--------------------|--------------|-------|
| 女性料理教室 | 令和元年 12 月 10 日 (火) | 中央公民館実習室 | 11名 |
| 会員増強施策 「一般女性市民向け講習」 「好印象を与えるためのコーディネート」 | 令和2年2月12日(水) | あきる野ルビア3階集会室 | 24名 |
| カルチャー教室 (小物作り) | 毎週3回 | センター作業場 | 常時8名 |
| カルチャー教室 (編み物教室) | 毎月4回(火曜日) | センター作業場 | 常時11名 |
| カルチャー教室 (体操教室) | 毎月4回(水曜日) | センター2階会議室 | 常時9名 |

(4) 社会奉仕活動

地域社会において健康に働けることを感謝し、また、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために以下の社会奉仕活動を行った。

| 活動内容 | 開催日 | 場所 | 参加人数 |
|---|---------------|--------------------------------------|------|
| 社会奉仕デー | 令和元年5月14日(火) | あきる野市役所・秋川駅周辺・武蔵五日市駅周辺・武蔵増戸駅周辺・森の下公園 | 134名 |
| 地区ボランティア | | | |
| 第1地区 | 令和元年11月24日(日) | 中央公民館・ふれあいセンター周辺 | 40名 |
| 第2地区 | 令和元年10月18日(金) | 秋川駅北口からセレホール・水道局通り沿道 | 26名 |
| 第3地区 | 令和元年10月20日(日) | 秋川駅南口から圏央道沿道 | 33名 |
| 第4地区 | 令和元年10月20日(日) | 永田橋通り沿道 | 30名 |
| 第5地区 | 令和元年11月30日(土) | 森の下公園・武蔵増戸駅から山田交差点沿道 | 34名 |
| 第6地区 | 令和元年10月20日(日) | 五日市小中学校周辺 | 19名 |
| 除草ボランティア・福祉施設ボランティアは、6その他事業(3)女性委員会活動②の報告のとおり | | | |

(5) 会員の確保と広報活動

会員確保と広報活動については、以下の事業を行った。

| 活動内容 | 内容説明 | 実施回数 |
|-------------|---|------|
| 会員入会説明会 | 60歳以上の高齢者に対しセンターの事業活動を説明、入会を募った。 | 11回 |
| 会報「あきる野」の発行 | 会員及び関連団体に配付。町内会・自治会を通じて回覧、ホームページにも掲載し事業活動の周知を図った。 | 2回 |
| 市広報紙の活用 | 市広報紙に、市民向け講習・補習教室・パソコン教室・刃物研ぎ等の開催の記事を載せ広く市民に周知した。 | 11回 |
| 会員によるPR | 会員の口コミによるPRを行った。 | 随時 |

| | | |
|-------|---|----|
| | 就業開拓委員を中心に理事による各企業等へのPRを実施した。 | 9回 |
| | 社会奉仕デー・地区ボランティア・女性委員会主催ボランティアに際し、のぼり旗によるPRを行った。 | 3回 |
| | よかもん市開催時に会員募集チラシを配布しPRに努めた。 | 4回 |
| | あきる野夏まつり開催時に会員募集チラシを配布しPRに努めた。 | 1回 |
| | 市産業祭に参加し、事業活動並び会員募集のPRを行った。 | 2回 |
| その他PR | ホームページに会員募集及び事業活動内容を掲載し、PR活動を行った。 | 常時 |
| | センター所有の車両にPR用のマグネットを貼り、市民への周知を図った。 | 常時 |
| | 会員募集チラシを作成、新聞折り込みにて配布した。 | 2回 |
| | 市内巡回バスに会員募集の広告看板を設置し、PRに努めた。 | 常時 |
| | 秋川駅上り線ホームに会員募集看板を設置しPRに努めた。 | 常時 |

7 会議

- (1) 定時総会 令和元年6月14日(金) 秋川キララホール 1回開催
- (2) 常任理事会 11回開催
- (3) 理事会 12回開催
- (4) 監査会 3回開催
- (5) 就業開拓委員会 6回開催
- (6) 事業委員会 7回開催(内1回緊急)
- (7) 広報委員会 11回開催
- (8) 女性委員会 3回開催
- (9) 安全管理委員会 6回開催
- (10) 設立40周年記念行事運営委員会 5回開催
 - 記念誌分科会 2回開催
 - イベント分科会 4回開催
 - 作品展分科会 2回開催
- (11) 正副地区長会議 1回開催
- (12) 地区会議〔6地区〕 各2回開催
- (13) 理事・監事・地区委員合同会議 1回開催

8 事務局

- (1) センターの事業を適正に運営するために、引いては役員・会員のサポート役を担うべく資質の向上に努めた。
- (2) 第6ブロックの事務局長会、次長会、職員連絡会(業務Ⅰ・業務Ⅱ・庶務経理)、安全就業推進員連絡会の各会議に出席し、各分野における関連法規、公益法人の運

営に関する情報の収集等の研究を行った。

- (3) 財団主催による各種職員研修に積極的に参加し、自己能力の研鑽に努めた。
- (4) 事務の効率化を図った。

※ 会員親睦事業

- (1) 会員親睦ハイキング 令和元年6月28日（金） 21名参加